



なは社協だより 12

歳末たすけあい運動 12月1日～31日

～つながり ささえあう みんなの地域づくり～

今年も12月1日～31日までの1ヶ月間、全国一斉に

「歳末たすけあい運動」が展開されます。

歳末たすけあい運動は、新たな年を迎える時期に、地域の誰もが

安心して暮らすことができるよう実施している募金です。

那覇市共同募金会でも募金を受け付けるほか、

ボランティアによる街頭募金も実施します。

今年も皆さまのご協力をお願い致します。

もくじ

歳末たすけあい運動始まる 1
募金箱コンテスト 20作品紹介 2
共同募金 60団体が街頭募金 3

地域資源マップ作り 4
ケアマネ災害対応・BCP合同研修 5
みまもりフォーラム 6

ボランティア活動紹介 7
チャリティーカラオケ 2月末まで 8
寄附御芳名／寄贈一覧／Vbox





第4回 赤い羽根募金箱コンテスト 寄付を呼び掛ける工夫ぞろいの20作品

毎年恒例となっている「赤い羽根募金箱コンテスト」。第4回となる今回は市内の小学3～6年生20人の作品応募がありました。

最優秀賞は泊小学校の相川千遥さんです。作品のこだわりポイントは「風船に紙を重ねて貼り、募金できるように中が空洞の地球をつくりました。また、人形をクリップで固定して、地球をかこみました」ということです。

募金箱はどれも段ボールや紙粘土、トレイなど様々な材料を使って作られた素敵な作品で、実際に楽しみながらお金を投入し、募金できるアイデアがいっぱいでした。

投票是那覇市社会福祉協議会の事務所前と、那覇市社会福祉大会の会場で計13日間にわたって作品を展示し、受付ました。入賞者へは、賞状と副賞を贈呈します。

ご応募いただいた皆様、投票していただいた皆様、ありがとうございました。



最優秀賞(1名)



相川千遥さん (泊小学校)

優秀賞(2名)



島尻怜奈さん (城北小学校)



照山夢乃さん (高良小学校)

佳作(7名)



平良珠菜さん
(宇栄原小学校)



比嘉結貴乃さん
(金城小学校)



鎌田奈央さん
(若狭小学校)



佐々木百花さん
(城西小学校)



平良紗弥さん
(仲井真小学校)



安藤真帆さん
(泊小学校)



前田大和さん
(安謝小学校)



参加賞(10名)



安里知紗さん
(城北小学校)



遠藤匠馬さん
(銘苅小学校)



鎌田麻那さん
(若狭小学校)



喜納新さん
(城北小学校)



水野心結さん
(泊小学校)



西川真由さん
(天久小学校)



川上弾さん
(城東小学校)



前原信司朗さん
(銘苅小学校)



前田修和さん
(安謝小学校)



與儀杏佳さん
(城北小学校)

歳末たすけあい運動 募金と使われ方

歳末たすけあい募金運動は、共同募金運動の一環として、新たな年を迎える時期に、支援を必要としている人々が安心して暮らすことができるよう実施している募金です。肌寒くなる季節ですが、地域のみんなの暖かい気持ちをお届けするそれが「歳末たすけあい募金運動」です。市民をはじめ企業・団体からの善意の募金を集め、さまざまな活動に使っています。

募金の目安ご協力ください

- ・法人募金 10,000円
- ・職域(従業員等) 一人500円
- ・個人募金 1,000円
- ・戸別募金 一世帯 400円を目安としています。

募金にご協力できる方は、募金会までご連絡いただくか、街頭募金での寄附をお願いいたします。



主な募金の使い道

- ①助成事業(歳末見守り交流事業、地域交流事業など)
- ②クリスマスケーキ贈呈式事業
- ③おそうじ隊
- ④紙おむつプレゼント事業



赤い羽根共同募金運動 街頭募金 60団体が実施

全国一斉の赤い羽根共同募金運動が10月から3月末まで実施されています。

那覇市でも、多くの市民・企業・団体の皆様から街頭募金や職域、法人募金などを頂いております。ご協力ありがとうございます。

寄附金は、来年度の市内・県内での地域福祉活動に活用されます。また、大規模災害時には、被災地の支援金として一部を活用しています。引き続きご協力をお願いいたします。

令和7年度 赤い羽根共同募金
中間実績(10月23日現在) **¥4,353,246**



たんぽぽ通り地域で地域資源マップを作成しました！

9月26日(金)、首里石嶺町民会館にて、たんぽぽ通り地域の「地域資源マップ」を作成しました。令和6年度から地域見守り隊の結成に向けて、たんぽぽ通り自治会をはじめ、ふれあい・いきいきサロンや地域ふれあいデイサービスといった、地域の皆さんと一緒に見守りについて話し合いを重ねてきました。

今回はその一環として、見守り活動に活かすための地域資源マップ作成に取り組みました。参加者は6～7名のグループに分かれ、マップを見ながら「どのような世帯があるか」「地域活動が盛んな場所はどこか」といった点を、丸シールで色分けしながら整理しました。

作業後には、各グループから出た情報を共有。「この場所にはこんなことができる人がいる」「ここは昔からゆんたく(おしゃべり)の場になっているよね」など、新たな発見や再確認があり、地域の特性や住民同士のつながりの大切さを改めて感じる機会となりました。

今後も、地域見守り隊の結成に向けて、地域の皆さまと協力しながら取り組みを進めてまいります。(担当:大城)



ふれあい・いきいきサロン「ゆんたくサロン」開所！

10月8日、県営上間市街地住宅自治会集会所で、84か所目となるふれあい・いきいきサロン「ゆんたくサロン」の開所式が行われました。このサロンは「団地内の集会所をもっと活用し、誰もが気軽に集える場所にしたい」という石川自治会長の思いから始まりました。今後は、毎月第2・第4水曜日の午前10時～12時、県営上間市街地住宅1階の集会所で開催します。おしゃべりや交流を楽しめる、あたたかい居場所です。ご興味のある方は、ぜひお気軽にご参加ください！(担当:玉城)



広告

医療保険診療費
支給申請ができます

**ご自宅や介護施設まで
出張施術します**

琉球治療院

詳しくはwebを後期！
琉球治療院

お気軽にお問い合わせください
【営業時間 9:00～18:00】

0120-680-006

沖縄本島全域、および宮古島、伊良部島、石垣島、八重山諸島、久米島、伊江島で訪問治療します。

治療内容 はり、お灸、マッサージ

10/20ケアマネ災害対応・BCP合同研修の開催

沖縄県介護支援専門員協会那覇支部主催による「災害対応・業務継続計画(BCP)合同研修」が開催されました。那覇市(チャーがんじゅう課・福祉政策課・防災危機管理課)や日赤安謝福祉複合施設、那覇市社会福祉協議会の共催で、行政と現場が一体となって行う貴重な研修の機会となりました。講話や個別避難計画作成演習、炊き出し体験を通して、実践的に防災への理解と連携を深めました。参加したケアマネジャーの感想とともに紹介します。(担当:當山)



當山 ケアマネ

地域の助け合いが 命を守る

災害発生時、まずは「自分と家族の安全確保を最優先に」という姿勢が求められることを改めて学びました。また「近助(きんじょ)」という地域の助け合いの仕組みづくりが、要支援者の命を守る鍵になるというお話が印象的でした。平時から個別避難計画や災害用ケアプランを作成し、地域や関連するサービス事業所と連携を図る事がとても重要です。居宅介護支援事業所の管理者として、職員全員が「命を守る備え」を意識し、地域と共に支え合う体制づくりを進めていきたいと思っています。



伊元 ケアマネ

食形態に対応した 炊き出しを知る

災害時にできることは限られていますが、平常時から災害が起きた際の避難経路や避難場所の確認・個別避難計画書の作成等を行い、ご利用者と一緒に検討することの大切さを改めて感じました。炊き出し訓練では、災害時に温かいご飯が食べられることのすごさやお米と水分量の調整を行うことで米飯～お粥までを調理することができるため様々な食形態の方にも対応することができるのでとても良いと感じました。



嶺井 ケアマネ

利用者宅を想定した避難方法を探る

自然災害や予期せぬ事態で業務継続が難しい有事に、本人や家族に対しケアマネジャーとしてどのように命を守る対応ができるか、常日頃から考える研修となりました。今回は災害時も想定してハイゼックス(非常用炊飯袋)の使用方法や炊き出しの目分量と保存方法を学びながら、炊き出し訓練のデモンストレーションを体験しました。グループワークでは、利用者宅の自然災害リスクを想定(海拔0m、集合密集地、土砂災害)しながら避難先はどこが良いのか、どこが危険かを想定しながら、地図を用いて皆で意見交換しながらの学びとなりました。



ハイゼックス(非常用炊飯袋)の
使用方法



炊き出し訓練の
デモンストレーション



『なは みまもりフォーラム2025 Part 2 わった〜ぬ どうしぐわあ〜づくり大作戦!』を開催しました

10月10日(金)ともかぜ振興会館にて、特定非営利活動法人まちなか研究所わくわくの宮道喜一氏をファシリテーターに迎え、「なは みまもりフォーラム2025 Part 2 わった〜ぬ どうしぐわあ〜づくり大作戦!」を開催しました。

今回のフォーラムでは、「わくわくする仕掛けづくり」によって住民が楽しくつながり、地域の中でどうしぐわあ〜(友達)づくりが生まれている2つの事例を紹介しました。

前島地域の取り組みとして、麻雀を楽しむことで新たなどうしぐわあ〜づくりが生まれた事例を発表。2つ目は、小禄老人福祉センターと沖縄県パチンコ・スロット協同組合の取り組みで、使い終わったスロット台を老人センターに設置して新しい居場所づくりを進めている事例を報告いただきました。

麻雀やスロットといった「わくわくする仕掛け」をきっかけに、地域の中で楽しく人と関わる場が生まれることで、自然と声を掛け合ったり、「今日は来ていない人はどうしたのかな」と気かけたりするような、「ゆるやかな見守り」が育まれています。今後も、地域のひとと楽しく関わることを大切にしながら、活動や居場所を地域とともに育み、見守り合える関係へとつなげていきたいと思ひます。フォーラムにご参加いただいた皆さま、ありがとうございました。(担当:大城)



那覇市社会福祉大会 記念講演 54人・団体を表彰

第49回那覇市社会福祉大会(共催・那覇市、那覇市社協)が10月10日、ともかぜ振興会館で開かれ、那覇市の地域福祉への功労者への表彰が行われました。民生委員児童委員の上原勉さん(写真)が被表彰者を代表してあいさつしてくれました。表彰内容は次の通りです。(担当:浦崎)

大会長感謝

- ・多額寄付者 個人 1名
- ・多額寄付者 団体 4団体

大会長表彰

- ・特別功労者 個人 2名
- ・特別功労者 団体 3団体
- ・社会福祉事業 特別永年勤続功労者 14名
- (1)民生委員・児童委員として15年以上 11名
- (2)社会福祉事業に25年以上従事 3名
- ・社会福祉事業 永年勤続功労者 30名
- (1)民生委員・児童委員として9年以上 18名
- (2)社会福祉事業に15年以上従事 12名



広がる地域との絆〜安岡中学校2学年一斉ボランティア〜

安岡中学校の2年生274名が10月3日(金)、同校区内11か所で保育や清掃、施設のお手伝いなどのボランティア活動に取り組みました。

さまざまな場所で力を発揮し、協働プラザ内の那覇市社協ブースで赤い羽根共同募金の準備を手伝ってくれた生徒さんから「募金が自分たちの暮らしにも役立つと知り、もっと協力したい」と感想が寄せられました。生徒たちの素直な気づきや前向きな言葉から、地域とつながる体験が心に残るものとなったことが伝わってきます。これからも、こうした活動が地域の未来を育む力になっていくことを願っています。(担当:青木)



41人の力で壺川老人福祉センターが大変身! 国建のCSR活動に感謝

秋晴れに恵まれた10月25日(土)、壺川老人福祉センターにて、株式会社環境設計国建様による清掃ボランティアが行われました。

社員とご家族合わせて41名が参加し、樹木の伐採や撤去作業に尽力していただき、普段手が届きにくい場所まで丁寧に整備され、施設全体が明るくすっきりとした空間へと生まれ変わりました。同センター相談員からは「施設がとても明るくなって本当に良かったです」と感謝の言葉が寄せられ、企業と地域の温かなつながりを感じる一日となりました。(担当:青木)



こどもの居場所 K O D O M O n o I B A S Y O

こどもの居場所第2回茶話会を開催 〜食品衛生について〜

なはこどもの居場所ネットワーク第2回茶話会を10月8日(水)、那覇市総合福祉センター会議室で開催しました。今回は那覇市保健所から講師を招いての「食品衛生講習」を企画しました。

調理や衛生管理、細菌についてなどスライドを使った詳しい解説に、25カ所の子ども食堂運営者のみなさんが、熱心に耳を傾けていました。「わかっているつもり、慣れているつもりでも、改めて話を聞くと、調理の心構えが新鮮になりますね」「初めて受講しました。目に見えない細菌の怖さを知ることができました」と刺激になったようです。ネットワークには現在72カ所の居場所が加入しており、今後も多くの団体が参加できるよう講習会を企画していきます。(担当:外間)



10月の寄附や寄贈の贈呈式の様子(順不同)

物資寄贈



コープおろく様



グリーン宇栄原自治会様



糸満漁協様



コープあっぱるタウン様



コープ豊見城・浦添センター様



沖縄ケーブルネットワーク(株)様



上原公德様



(株)前田鶏卵様



沖縄製粉(株)様



那覇倫理法人会様



株式会社フジタ沖縄支店様



包括支援センター石嶺
切手ボランティア様

ボランティアBOX寄贈

たくさんのご支援、ありがとうございました♪

寄附者ご芳名(敬称略)

令和7年10月

528,881 円

一般寄附

田端研二、宮城哲哉、當山節子、安謝自治会、安謝子ども会わくわく太鼓、小野建沖縄(株)中部センター、小野建沖縄(株)西崎センター、沖縄看護専門学校、クラウドライク(株)、手塚謙次、内間安弘、小緑こども未来会、川満正人、新城伸子、米内山まり

おきぎんSmart

・ちばりよーな〜ふあ募金 6件

1,516 円

令和7年度4~10月

寄附金総額

7,647,372 円

寄贈者ご芳名(敬称略)

令和7年10月

68件 1,269.8* 円

物資寄贈(10月)

津覇美津江、ミヤギチカコ、上原公德、大城ひろあき、真和志福祉会スカイマリン保育園、沖縄県那覇市倫理法人会、有限会社サニー沖縄、那覇青果物卸商業協同組合、株式会社前田鶏卵、那覇市総務部防災危機管理課、ケンタッキーフライドチキン小緑店(株式会社リウエン商事)、ケンタッキーフライドチキン壺川店(テラスホテルズ)、小規模多機能ホーム はれる家(嶺井宏治)、沖縄JTB株式会社、合資会社富士土産、糸満漁業協同組合、コープおろく、コープあっぱるタウン、コープ豊見城・浦添センター、合同会社はっぴい就労支援ハート・ラボ、沖縄ケーブルネットワーク株式会社、株式会社照屋食品、イオン琉球(株)イオン那覇店

フードドライブ連携

市内の郵便局窓口37か所、沖縄ファミリーマート31店舗、リウボウストア7店舗、石嶺公民館と、物資を寄贈いただいた皆さま

令和7年度4~10月

寄贈総計

418件 9,838.4* 円

歌って応援♪「カラオケとまと」コラボ企画・チャリティーカラオケ 2月末まで

カラオケとまと(渡嘉敷商会)様とコラボした那覇市社会福祉協議会資金造成事業「第12回チャリティーカラオケ」を6年ぶりに実施しています。カラオケとまと全店舗で利用できる1,000円分のチケット(金券)を1,000円で販売しています。売り上げに応じて渡嘉敷商会様が那覇市社会福祉協議会へ寄附してくれるという企画です。皆様、ぜひご購入をお願いします。カラオケとまとでカラオケを楽しみましょう♪



詳細や購入方法は
社協HPから→



※那覇市社会福祉協議会が実施する事業及び福祉サービスにおいては、個人情報保護規定を定め、個人情報の種類・利用の目的・提供方法について、適法かつ適正な方法で対応いたします。



那覇市社協のHPやSNSでも情報発信しています。
過去のなは社協だよりもアーカイブからご覧になれます。

なは社協だより
アーカイブ



この印刷製品は、環境に配慮した
資材と工場で製造されています。



ミックス
紙 | 責任ある森林
管理を支えています
FSC® C166756